

Independence 02

市立札幌開成中等教育学校 発展期通信
発行：2021年5月26日

<ルーコラム“受験期の思い出・メッセージ”と題して、発展期の先生がたにコラムを書いてもらいました。>

私が高校3年生のとき、札幌でサッカーワールドカップが開催されました。当時、世界的に有名なイングランド代表のベッカム選手が来札し、大きな話題となりました。サッカー熱に影響を受け、部活を引退した私は現実逃避から休み時間になれば、汗だくになるまでサッカーをして友だちと過ごしていました。そして、家に帰れば「受験勉強しなきゃ」という気持ちと「眠いなあ」という身体の訴えの間で葛藤する生徒でした。その後も、学校祭や体育大会など放課後は楽しいイベントの準備で忙しく、なかなか勉強に実が入らなかった日々を覚えています。そんな私も夏休み以降は、毎日勉強に明け暮れました。今振り返ってみると、とても精神的につらい日々でした。私が頑張れた一番の要因は“友だち”の存在でした。友だちと勉強を教え合ったり、模試の点数を競ったりしていました。私の場合、大人になった今でも親交のある友だちはこのとき“苦労を共にした友だち”がほとんどです。受験期を乗り越え、進路実現がなされたのちに残る大きな財産の一つに“苦労を共に乗り越えた仲間”があるのではないのでしょうか。ぜひ周りの助けを遠慮なく借りて、前に進むエネルギーにしてみてください。

6-1担任 島本 史也

同じころ、金沢ではサッカーワールドカップは開催されませんでした。あの有名でカッコいいベッカム選手が日本に来たと喜んでいました(笑)。その時は、まさか将来札幌に来るとは思ってもいませんでした。さて、今年度が始まってあっという間に2ヶ月が過ぎようとしています。MYPを経てIPとDPへ進んだ6期生。5分早く行動する「サキトレ」や、気になる先生に面談を希望する「カモンウィーク」。今年度新たに始まった授業はもちろんのこと、少しずつ今後の進路を意識して行動に移している姿が見られます。ついこの前から短縮授業になり、スキマ時間やいつもよりフリーになった時間をカスタマイズして新たなことにチャレンジする生徒もいます。最近、「4期生はどうでしたか？」と聞かれることがあります。本校で初めて6年間を過ごし巣立っていった卒業生。彼らもまた発展期に入って何を目標すべきか悩んでいました。「やっているはずなのに、どこまでやっても不安だ」とこぼす生徒もいました。確かに、努力してきたことがすぐに実るとは限らないかもしれませんが、でも成功した人は必ず努力しています。5期生の皆も6期生の皆も、今ある時間で何ができるかを考えて、自分の可能性を広げていってください！ 視野を広げると、選択肢も増えますよ。

5-1担任 鈴木 綾

<4・5月の発展期の取り組みを紹介します！>

・5分先取りトレーニング・サキトレ(5・6年)…余裕をもって行動できるための時間を作るトレーニングです。5分前行動を心掛けて、先取って行動します。(一年間継続実施します。)

○5年生のサキトレ&前向き風景。時計に注目！↓

・前向き体操(5年)…ネガティブをポジティブに変換する力を養うため、一日一枚取り組んでいます。(4/12~5/7 実施)

・ネバギバ体操(6年)…あきらめない力を育成するため、論理問題などを一日一問出しています。共通テスト対策にもなります。(4/12~5/7 実施)

